

ふくしま田園中枢都市圏の将来像を描く
福島圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 委員
(県PTA連合会母親代表理事)
大須賀 祐香 さんに聞きました！



🐰 活動内容は？

3月30日に締結されたふくしま田園中枢都市圏の、具体的な取り組みやこれからの圏域の将来像を描く「連携中枢都市圏ビジョン」を策定するための組織で、幅広い分野から委員が集まり、意見を交わしました。ビジョンには、懇談会の委員が提案した内容が反映されています。

🐰 委員を引き受けた際の感想は？

私が普段関わっているのは子育てに関する分野が主なので、ビジョンの策定に当たり、今まで関わることが無かった分野へ意見を述べるのが自

分に務まるか心配でしたが、子育て世代としてお話しさせていただきました。感想は？
懇談会に出席した職種や、住む市町村が違うさまざまな立場の方と意見交換をする場に出席することはなかなか無いので新鮮でした。

🐰 懇談会で苦労したことは？

今までは、自分の周りの同じような立場の方と意見を交わすことが多かったのですが、自分はどう感じているだけでも、視点を変えると簡単にはいかない事もあるのだと感じました。



▲懇談会で意見を述べる大須賀さん

🐰 ふくしま田園中枢都市圏に期待することは？

強しました。圏域の強みである自然豊かな田園と、整備された都市機能が上手く調和されれば大きな魅力になると思います。そんな魅力ある圏域を子どもたちが好きになってくれて、地元で良いところだなと思ってもらい、生まれ育ったこのふくしまに、自信が持てるような圏域となることを期待します。

We Love ふくしま！

第47回
「起き上がり小法師」



3月16日の地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
大震災から復興途上で、台風19号、昨年2月の地震と災害が相次ぎ、2年以上続くコロナ禍もまだ出口が見えない状況で、またも地震。さぞ、心が折れかけた方も多いと思います。
それだけに、本市出身大相撲若隆景関の三月場所所幕内優勝は、本当によい話題でした。小柄ながらも真つ向勝負で粘り強く勝ち抜く相撲は、私たちを励まし、再起する勇気と希望を与えてくれました。
一方、国外に目を転ずると、ウクライナの惨状は、地獄絵図を見ているような惨さです。戦争の残酷性に身が震えます。
ウクライナとは、大震災後、本市派遣団などが放射線対策を学び、コンサートなどを通じた交流を続けてきました。昨年3月開催の「起き上がりこぼし展」には、ウクライナの子どもたちが福島復興と平和への祈りを描いたキッズ・ゲルニカとともに、絵付けした起き上がり小法師を出展して、励ましてくれました。今度は私たちが、ウクライナにおける一日も早い平和の到来

と復興への願いを起き上がり小法師に託します。同時に、私たち自身も、度重なる災害に挫けない心を、起き上がり小法師と共有しましょう。
市としては、引き続き、被災された方の生活再建支援と被災施設の復旧を速やかに進めるとともに、災害を契機として、魅力あるまちづくりを加速します。
市民共創で、災害に一層強靱な地域や生活スタイルをつくりていきたいと思えます。市では、運動会などに防災メニューの導入を促すなど、防災の日常化を図ります。市民の皆さまも、落下防止対策など、再び同様の被害が生じない工夫・改善を講じてください。
今後も、起き上がり小法師の精神で立ち上がりましょう。



▲ウクライナの子どもたちが絵付けした起き上がり小法師

福島市長 木幡 浩